

～駅のホームの安全性向上にむけて～

鉄道駅バリアフリー料金制度によるホーム柵、ホーム安全スクリーン整備計画について

JR西日本では、より安全に安心して鉄道をご利用いただけるよう、駅のホームにおける安全性向上を重要な経営課題ととらえ、ハード・ソフトの両面からさまざまな取組みを進めております。

2023年4月1日から京阪神地区の整備対象エリアにおいて、鉄道駅バリアフリー料金制度を活用し、お客様のご理解とご協力をいただきながら、バリアフリー設備の整備を加速してまいります。また、ホーム柵・ホーム安全スクリーンの整備については、「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027」の2027年度の到達目標として着実に進めることで、ホームからの転落による列車とお客様の接触事故の防止を図ってまいります。

1. ホーム柵の整備計画

2027年度末時点で25駅78番線^{※1}にホーム柵整備をめざします。

※1：2022年度末までに整備完了した駅番線も含まれます

【今後の整備計画】

整備予定年度	線区	駅名	番線	予定型式
2023年度	JR神戸線	西明石駅	5・6	昇降式
2024年度	大阪環状線・JRゆめ咲線・関西空港線・ 阪和線・大和路線	西九条駅	1・2・3・4	可動式
	大阪環状線	弁天町駅	1・2	可動式
2025年度	JR京都線・湖西線・琵琶湖線	京都駅	3・4	昇降式
	JR神戸線	明石駅	1・2	昇降式
	大阪環状線	天王寺駅	11・14	可動式
	大阪環状線・大和路線・阪和線・関西空港線	新今宮駅	2・3	可動式
2026年度	JR神戸線	神戸駅	3・4	昇降式
	JR神戸線・JR宝塚線・福知山線	大阪駅	3・4	昇降式
	JR京都線	吹田駅	2・3	可動式
2027年度	JR東西線	新福島駅	1・2	可動式
	JR神戸線・JR京都線・JR東西線・学研都市線	尼崎駅	4・5	昇降式
	大阪環状線・大和路線・和歌山線	天王寺駅	16・17	可動式
	JR宝塚線	新三田駅	1・2・3・4	昇降式
	JR神戸線	舞子駅	1・2	昇降式
	学研都市線	住道駅	1・4	可動式

※JR神戸線 三ノ宮駅1番線(昇降式)：2023年5月設置済み

2. ホーム安全スクリーンの整備計画

2027年度末時点で84駅245番線^{※2}にホーム安全スクリーンの整備をめざします。

※2：2022年度末までに整備完了した駅番線も含みます

【今後の整備計画】

整備予定年度	駅名・番線						整備予定数
2023年度	天王寺 1～9 元町 1～4 桂川 1・2 海老江 1・2	新大阪 1～3 垂水 1・2 茨木 1・4	芦屋 2・3 鳳 1～5 兵庫 1～4	須磨 1～4 摂津富田 2・3 桜ノ宮 1・2			13駅 43番線
2024年度	住吉 1～4 堺市 1・2 向日町 2・3 ユニバーサルシティ 1・2	久宝寺 1～4 奈良 2～5 桜島 1・2	西宮 1～4 日根野 1～4 岸辺 2・3 六甲道 1・2・4	甲子園口 1～3 鳴野 1～4 三国ヶ丘 1・2			14駅 42番線
2025年度～ 2027年度	詳細計画検討中						55駅 152番線

* 整備箇所などについては現在の計画となります。部材調達状況や転落接触等の発生状況により変更になる場合もございます。

詳細な使用開始等の時期については決まり次第、お知らせします。

* 設置イメージ



可動式ホーム柵



昇降式ホーム柵



ホーム安全スクリーン

[参考] 鉄道駅バリアフリー料金制度を活用したバリアフリー設備の整備
(2022年8月19日ニュースリリース)

https://www.westjr.co.jp/press/article/2022/08/page_20617.html

今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に9番、10番、11番に貢献するものと考えています。

JR SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JR西日本グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

